

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市泉ひまわりの家		
2 指定管理者	社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会		
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 4,096人(前年度比 92.6%) 令和4年度 4,421人 令和3年度 4,627人		
	《事業》 主として知的障害者が通所し、日常生活に必要な支援を行うことで、福祉の増進を図る。		
5 収支の状況	《費用》		()は前年度決算額
	・ 指定管理者に支払った費用	77,788千円 (74,792千円)	
	・ その他市が負担した費用	69千円 (12,404千円)	
	《収入》		
	・ 使用料収入	69,203千円 (72,914千円)	
	・ その他収入	0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 令和5年度は、障害者支援課と運営法人でそれぞれ1回ずつアンケートを実施。 施設運営委員会を年2回、保護者会を年5回実施している。また、担当者会議等の面談時に要望等の聞き取りを行っている。		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	条例で定める設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解し、利用者支援に従事している。 また、利用者の障害特性を十分に把握したうえで配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。 他の施設や関係機関との連携も適切に図られている。	42/42
II 施設の運営管理体制	法に定められた職員数が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の取扱いについては、管理責任者を定めるとともに、職員研修を行い、意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備えた体制も整えられ、事故防止策の研修も適切に実施している。	24/24
III 施設・設備の維持管理	老朽化が進んでいる施設ではあるが、利用者の安全を確保し、安心して利用してもらえるよう、施設の保守点検や清掃を丁寧に行い、清潔に保たれている。 また、感染症対策で小まめな手洗いや換気しながら、節電・節水などの省エネ対策も継続して施設運営にあたっている。	22/22
IV サービスの質の向上	職員の資質向上や意識高揚のため、研修会への参加に適切に取り組んでいる。 また、支援の充実のため他の障害者施設等も含めた施設運営委員会を継続して実施する等、施設の現況説明や情報交換を行い、施設運営上の課題を把握するなど、利用者等の意見を反映した施設運営に努めている。 利用者の支援に支障があるため、職員は名札を着用していない場面もあるが、掲示による職員紹介を行っている。	28/28
V 施設固有の基準	指定管理施設としての基準を遵守しながら、医療的ケアを必要とする利用者の障害特性の細部までの把握に努め、支援の充実に努めている。 利用者本位の支援に努めつつ、サービスの質の向上を目的とした取組みも行っている。	8/8

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
<p>自己決定支援の観点から利用者の意思を尊重しながら質の高いサービスを提供し、様々な行事の拡充を行い、満足度の向上を図った。</p> <p>《重点事業のまとめ》</p> <p>1 個別支援計画に基づくサービスの提供とサービスの質の向上 個別支援計画に基づき、個々の適性に応じたサービス提供と利用者の社会参加の促進及び自己実現を目指し、個別プログラム内容の充実に努めサービスの質の向上を図った。</p> <p>2 利用者の課題に合わせた日中活動の充実 グループ活動が定着したことにより、障害特性に応じた各種活動内容の充実が図られ、日中活動に於いても外出機会が増加し、社会参加の充実が図られたことにより活動意欲が増し情緒の安定に繋がっている。</p> <p>3 医療的ケアが必要な利用者の支援体制の充実 医療的ケアを必要とする利用者（進行性難病）の重度化が顕著なことから、看護会議等を行い支援体制の再構築を適宜に行い、医療機関や障害者相談支援事業所と連携を図り、環境整備等を再整備し、支援体制を強化した。また、医療依存度の高い利用者対しての支援について会議を定期的に行い、職員の支援スキル向上に努めた。</p> <p>4 地域交流活動の推進を継続 様々な地域交流活動に積極的に参加することにより、利用者が楽しめる時間を提供する等、可能な限り地域交流の機会を継続することができた。</p> <p>5 関係機関との連携 障害者相談支援事業所や医療機関と連携し、安心安全に施設利用できるよう支援した。また、グループホーム等を利用する方に対し、適切な支援を行えるよう、入居先のグループホーム等の関係機関と情報を共有し連携を強化した。さらに、利用者・家族が地域生活で安心して送れるよう障害者相談支援事業所等と連携して支援した。</p> <p>6 大規模災害（地震等）対策の充実 大規模災害発生時を想定した連絡体制・手順の確認やマニュアルの周知徹底を図り、研修・訓練を行った。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>協定書及び仕様書に従っておおむね適切、良好に行われた。</p> <p>利用者や家族のニーズに応じた支援を行うとともに、医療的ケアを必要とするなどの質の高いサービスに応えられるよう、人材育成に力を入れているほか、看護師等による支援により利用者の個々の状態に合わせたサービス提供が行われている。</p> <p>支援の充実のため他の障害者施設等も含めた施設運営委員会も継続して実施しているほか、感染症対策に留意しながら地域との交流を図り、福祉施設や障害のある方への理解促進に努めるなど、総合的には高く評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課